

图5 史蹟紫香樂宮址（甲賀寺）復元図

大正12年(1923)4月
黒板勝美(史蹟名勝天然記念物調査員)の調査
大正13年1月
史蹟に仮指定
大正15年10月
史蹟に本指定
昭和5年(1930)1月
肥後和男(滋賀県保勝会調査員)の調査
昭和25年
滋賀県教委、鬮伽池・塔跡の調査
昭和38年~42年
滋賀県教委、「史跡」の整備事業
昭和44年~
雲井地区県営園場整備事業
昭和46年~49年(1971~74)
宮町地域で柱根を発見
昭和50年
宮町地域の柱根を確認
昭和55年~57年
町内遺跡分布調査
昭和56年
近世古文書調査
昭和59年2月~3月(1984)
信楽町教委、宮町遺跡第1次調査
昭和61年12月~62年2月
第4次調査、はじめて「奈加王」木簡等が出土
平成5年(1993)8月~6年3月
第13次調査、荷札や「皇后宮職」木簡等が出土
平成8年5月~平成12年3月
第20~25次調査、「大溝」で木簡の出土続く
平成12年4月~13年3月
第28次調査、西脇殿を検出
平成12年4月~
滋賀県教委、新宮神社遺跡で橋脚・道路を検出
平成13年4月~14年3月
第29次調査、東脇殿・北殿・五間門など検出



写真1 史蹟紫香楽宮趾と宮町遺跡の遠景
手前の丘陵上にある史蹟紫香楽宮趾、前方の小盆地内に宮町遺跡がある。

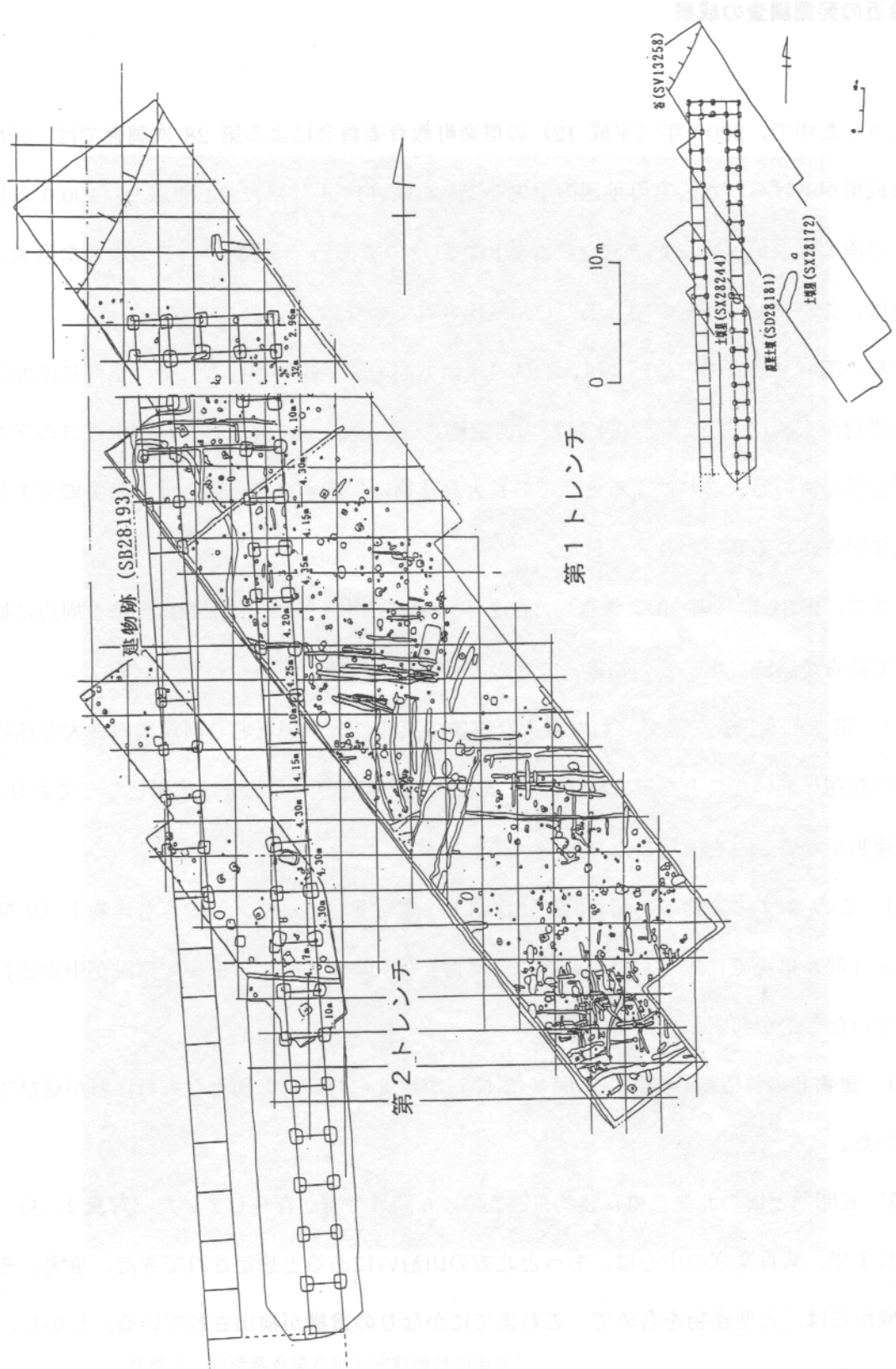


図6 宮町遺跡第28次発掘調査遺構実測図

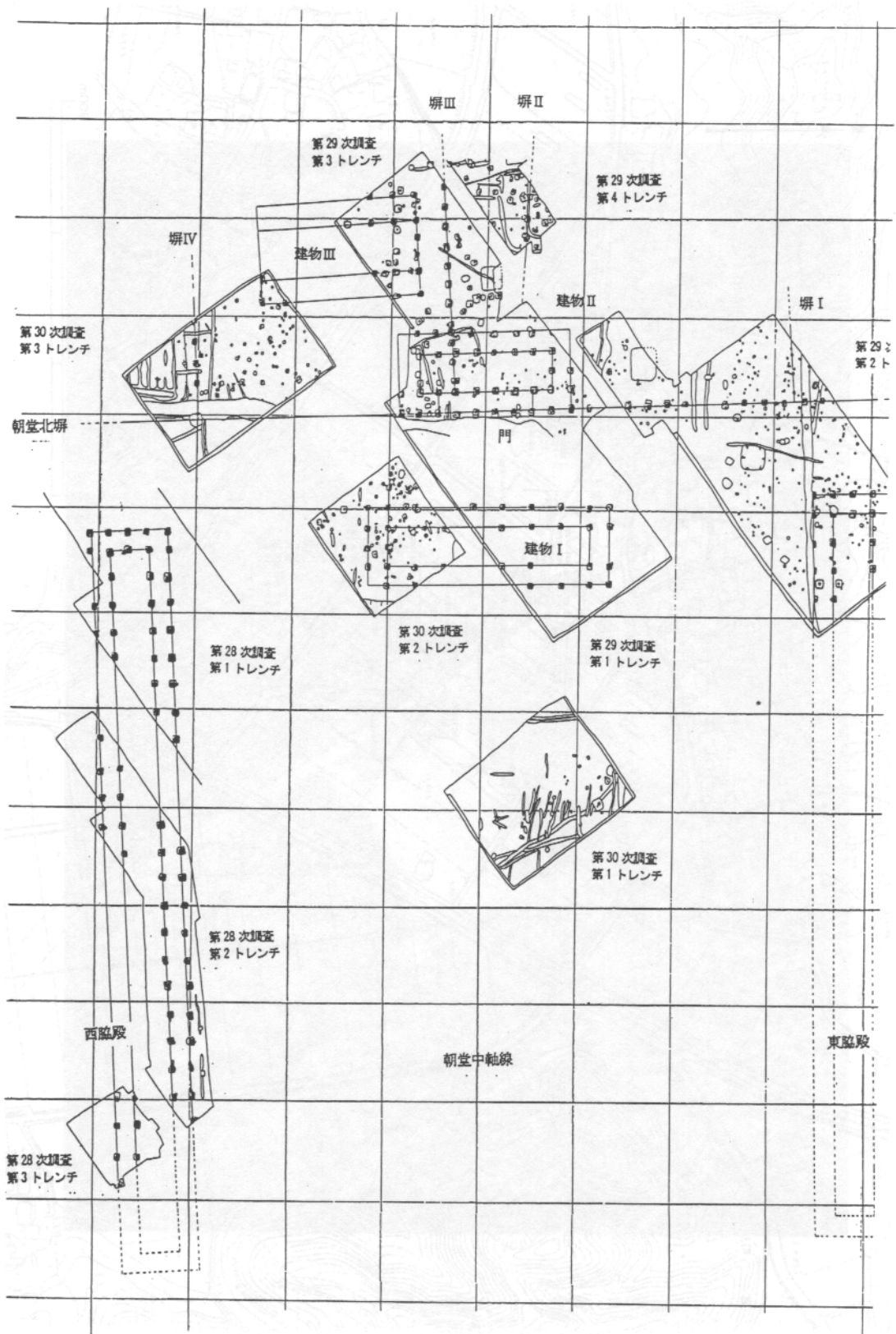


図7 宮町遺跡中心部遺構配置図 方眼：50尺（14.85m）四方